

五明廃寺跡(ごみょうはいじあと) (児玉郡上里町)

この辺り一帯が五明廃寺跡か/正面は調査隊の車







五明廃寺

所在地 上里町大字五明字若宮地内

五明廃寺は、埼玉県の最北端に位置する寺院跡である。寺域等は不明であるが、昭和五十六年の町道拡幅舗装工事に伴ない上里町教育委員会が発掘調査を実施した。その結果、南北に延る浅い溝が確認されたが、建物の詳しい構造や規模は確認できなかった。出土した瓦は、単弁十六葉蓮華文軒丸瓦、単弁八葉剣菱文軒丸瓦、葡萄唐草文様軒平瓦、隅切瓦、丸瓦、平瓦等多種類である。さらに隅切瓦の出土から当時の建物は、寄棟造りか入母屋造りであったことが想像される。出土した軒丸瓦の意匠等から五明廃寺の創建は奈良時代（八世紀前半）であると推定される。

五明廃寺の周辺には帯刀古墳群、下郷古墳群を始め古墳時代後期から奈良、平安時代の集落跡の遺跡が多数存在しており、これらの遺跡を造営した豪族層が寺院の創建に関係していたと思われる。

単弁十六葉蓮華文軒丸瓦は、群馬県の上植木廃寺、寺井廃寺出土の軒丸瓦と同范（同じ型で作ったもの）であり上野国との強い関係がうかがえる。

なお、五明廃寺の出土遺物は、上里町教育委員会で保管している。

ごみ箱にまで「五明廃寺跡」と書いてある





周辺の風景







すぐ近くに天神社があった



今城青八坂稲実神社であると伝えられている式内論社の古社という



参考ホームページ

<http://blogs.yahoo.co.jp/wamioda56/34808096.html>





